

小体研

Physical education

2020年(令和2年)

3月10日(火)

◇第13号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

沖縄県教育委員会 小学校体育専科教員活用事業 八重山地区体育専科 公開授業 第4学年「多様な動きをつくる運動」 白浜小学校 金城一機

～授業参観を通して～

今回、真喜良小学校の公開授業を参観させて頂き多くの学びがありました。その学びの中でも特に印象的だったものを4つ記載したいと思います。

① 手作りの教材、用具が豊富

子ども達の安全を第一に、体のバランスをとるための動きや用具を操作する楽しさを味わえるような教材、用具がありました。やり方さえ分かれば子ども達が自主的に、意欲的に取り組めるものばかりで子ども達の運動量がしっかりと確保されていました。当陽先生曰く「100均は宝の山」だそうです。

② 一人運動とグループで取り組む運動のバランスと場の設定

多様な動きをつくる運動では、一人で取り組む運動もありましたが、ペアや3～4名のグループで取り組む運動もあり、体育館を大きく使った場の設定の中でたくさん汗をかいている姿が印象的でした。好きな運動をするのではなく、様々な運動を、単元全体の中で、一通り経験させるように計画されており、まさに多様な動きをつくるための運動が見られました。



③ 基本的な動きを組み合わせる運動と一校一運動【縄跳び】の組み合わせ 問いを持たせる発問

体力テストの結果を基に、苦手としている反復横跳びや持久走を向上させるために、縄跳び運動を、基本的な動きと組み合わせる運動と連携させ、オリジナル技を考えさせるという本時の展開でした。簡単な技かと思いきや、見たこともないような組み合わせ技を考えているグループが多数あり、単調な動きの縄跳びがここまで工夫できるんだと感心させられました。授業の中では、「今のグループはどこが良かったからできたの?」「なぜ失敗したのだろうか?」と「問い」を持たせるための発問が多く、子ども達に思考させるため教師の意図が多く見られました。私がずっと見ていたグループの女の子もなかなかできず苦しそうな表情をしていましたが、グループで話し合い、跳ぶ順番を変えたことでうまくいき、最後は素敵な笑顔で授業を終えることができていました。



④ シンプルなワークシート

体育の授業でいつも悩むのがワークシートの作成や活用の部分。個人的には、副読本についているのは使いづらく、一から作成となると結構な労力がかかってしまうということで悩みの種であったワークシートですが、真喜良小のワークシートはシンプルで分かりやすく一枚でまとめられているものが多くありました。授業反省会の中でも出ていましたが、体育専科の当陽先生が一度作成し、それを担任の先生に確認してもらい、子ども達の実態に応じて工夫改善をいれていくものということで、とても効果的だと感じました。ぜひ八重山全小学校へデータをください!

～授業研究会を通して～

今回の真喜良小学校の体育専科の公開授業を通して、学校一丸となり体育の授業の中で「子ども達が学校大好き」「友達と一緒に考えることは楽しい」と感じさせる姿がある、体育は学級経営の土台になることを強く感じました。貴重な体験をさせて頂き、当陽先生をはじめ真喜良小学校の職員の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

